

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2010年第14号(週報・月報合併号)

2010年第14週(4月5日~4月11日)、月報3月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

— 感染性胃腸炎 : 患者報告数は増加! —

県全体の定点当たり患者報告数は4週(14.06人)をピークに減少傾向となっています。今週の定点当たり患者報告数は5.97人(前週:4.58人)と増加しました。

保健所別は、和歌山市保健所管内(今週:8.33人、前週:6.00人)、海南保健所管内(今週:9.00人、前週:8.50人)で患者報告数が多くなっています。また、新宮保健所管内(今週:6.00人、前週1.50人)で患者報告数が大きく増加しています。これらの地域では引き続き注意が必要です。

なお、感染性胃腸炎の警報レベル基準値は20.0人(終息基準値:12.0人)です。(定点当たり患者報告数)注意報レベル基準値はありません。

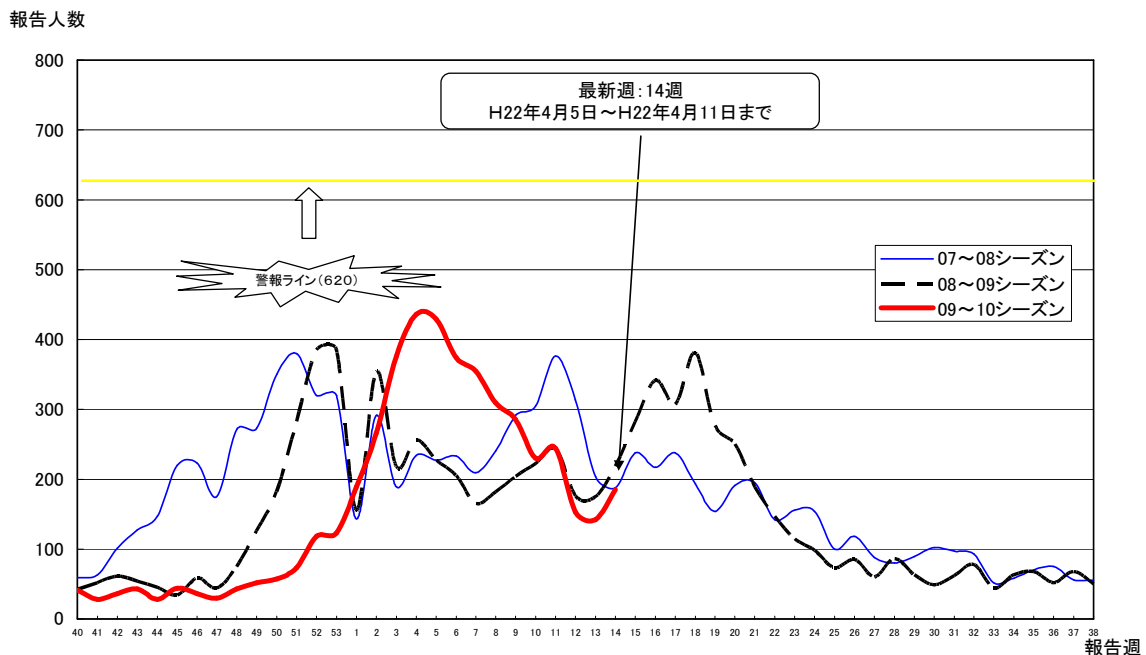
ノロウイルスの遺伝子解析結果について(ノロウイルス感染症:ノロウイルスの詳しい説明)

2009年12月から2010年3月までに発生したノロウイルスGⅡ由来の集団下痢症10事例について、ノロウイルスの遺伝子型調査を行いました。その結果、GⅡ/2型が6事例、GⅡ/4型が3事例、GⅡ/12型が1事例確認されました。中でも、GⅡ/2型は、岩出、橋本、田辺、新宮保健所管内で確認されており、広い範囲で流行していたと考えられます。GⅡ/4型については、2006年以降、最も多く確認されていた遺伝子型ですが、今シーズンはその割合が低下してきているようです。

現在、感染性胃腸炎患者数は減少してきており、ノロウイルスが原因の胃腸炎も減ってきていると考えられますが、ノロウイルスは、非常に感染力が強く、多くの人が同時に感染してしまうケースがしばしば見られますので、引き続き手洗い等の感染予防を心がけて下さい。

(ノロウイルス情報: [ノロウイルスQ&A:厚生労働省](#))

感染性胃腸炎推移(県内31定点医療機関集計分)



－ **手足口病** ： **海南保健所管内で警報レベル基準値を超える！** －

手足口病は、手のひら・足の裏・口の中を中心に発疹や水疱が現れるのが特徴で、一般的に夏場に流行する感染症です。しかし、今年は全国的に春先から患者報告数が増加しています。

県内では、海南保健所管内の定点当たり患者報告数が7.00人（前週：2.50人）となり、警報レベル基準値を超えました。他の保健所管内では、まだそれほど患者報告数は多くありませんが、夏場に流行する感染症ですので今後の動向に注意が必要です。

なお、手足口病の警報レベル基準値は5.0人（終息基準値：2.0人）です。（定点当たり患者報告数）注意報レベル基準値はありません。

－ **流行性耳下腺炎** ： **岩出、御坊保健所管内で注意報レベル基準値を超える！** －

岩出保健所管内、御坊保健所の定点当たり患者報告数は、それぞれ4.00人（前週：3.25人）、3.50人（前週：1.00人）となり注意報レベル基準値を超えています。なお、田辺保健所管内の報告数は2.50人（前週：4.25人）と減少し、注意報レベル基準値を下回りました。

また、県全体では1.77人（前週：1.61人）と今週もわずかに増加しています。これは、全国の報告数（過去5年間の同時期）と比較して多い状況ですので、今後の動向に注意してください。

なお、流行性耳下腺炎の警報・注意報レベル基準値は警報が6.0人（終息基準値：2.0人）、注意報が3.0人です。（ともに定点当たり患者報告数）

－ **その他の感染症** －

水痘：和歌山市保健所管内の患者報告数は、2.33人（前週：5.33人）となり注意報レベル基準値（4.0人）を下回りました。県全体の患者報告数は、1.48人（前週：2.48人）でした。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

1類感染症：報告はありませんでした。

2類感染症：結核 6名

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1名

4類感染症：報告はありませんでした。

5類感染症：アメーバ赤痢 1名

2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	64
腸管出血性大腸菌感染症	5
オウム病	1
つつが虫病	5
日本紅斑熱	1
レジオネラ症	3
アメーバ赤痢	1
急性脳炎	2
後天性免疫不全症候群	2
梅毒	2
破傷風	1
風疹	1

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

手足口病（海南保健所管内）

注意報レベル

流行性耳下腺炎（岩出、御坊保健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.06	-	-	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	8	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	4	-	-
	定当	0.26	-	-	-	-	-	0.03	0.06	-	0.03	-	-	0.13	-	-
感染性胃腸炎	報告	185	-	11	28	16	18	26	17	12	10	15	7	20	-	5
	定当	5.97	-	0.35	0.9	0.52	0.58	0.84	0.55	0.39	0.32	0.48	0.23	0.65	-	0.16
水痘	報告	46	2	2	10	4	8	12	2	-	2	3	-	1	-	-
	定当	1.48	0.06	0.06	0.32	0.13	0.26	0.39	0.06	-	0.06	0.1	-	0.03	-	-
手足口病	報告	26	-	1	11	10	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.84	-	0.03	0.35	0.32	0.03	0.03	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-
突発性発疹	報告	27	-	9	14	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.87	-	0.29	0.45	0.1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	55	-	-	1	3	6	11	15	11	4	3	1	-	-	-
	定当	1.77	-	-	0.03	0.1	0.19	0.35	0.48	0.35	0.13	0.1	0.03	-	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	-	0.25	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	3	-	3	-	1	1	-	-	-
	定当	0.33	-	0.75	-	0.33	0.5	-	-	-
感染性胃腸炎	報告	75	18	24	23	13	8	12	12	-
	定当	8.33	9	6	5.75	4.33	4	3	6	-
水痘	報告	21	4	6	-	5	6	-	1	3
	定当	2.33	2	1.5	-	1.67	3	-	0.5	3
手足口病	報告	10	14	1	-	-	-	1	-	-
	定当	1.11	7	0.25	-	-	-	0.25	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-
突発性発疹	報告	9	1	5	2	2	1	6	1	-
	定当	1	0.5	1.25	0.5	0.67	0.5	1.5	0.5	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	11	-	16	2	6	7	10	3	-
	定当	1.22	-	4	0.5	2	3.5	2.5	1.5	-
急性出血性結膜炎	報告	2	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.67	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	3	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	1	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	1	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	1	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

調査の対象となる感染症の中では、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が最も多い状況が続いています。これは、全国の状況と同じです。また、患者報告数の最も多い年齢階級層は70歳以上で全体の55%を占めています。

その他の感染症の報告数については、和歌山県の場合、毎月0人から数人と非常に少ない状況にあります。

【3月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	20	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	3	11
	定当	1.82	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	0.18	0.09	0.27	1
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	0.09
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2010 年第 14 号

発行日：平成 22 年 4 月 15 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。